

# 三和整備 今月の工場

皆様こんにちは、三和整備藤巻です。  
 整備のお客様、まんまる保育園の先生、園児さんが遊びに来てくれました。  
 こいのぼりと写真撮影に先生と子供達は大喜び。たくさんの笑顔が溢れて  
 いました。子供たちの、思い出の一コマとなりますように……。



まんまる保育園様では、送迎バスにお子様たちの  
 安全を考え、シートベルトの設置をいち早く  
 行いました。園児ひとりひとりの命をつなぐ  
 シートベルト。  
 三和整備で、設置できますので、お問合せ下さい。



カラフルな  
 シートベルト。  
 肩から固定  
 するタイプです。

## 編集後記

ゴールデンウィークは、いかがお過ごしでしたか？私は、ニセコの温泉へ行ったり、  
 友達とバーベキューをしたり、食べてばかりの休みでした。今時期は、  
 気温が安定しないので、風邪などひきやすくなっております。皆様お気をつけ下さいね。(岡田)



2023年5月20日発行



第156号

# Sunwaの

# 吊りバカ通信

安全・安心・感動を提供し続けます。



## ”忘己利他の精神”

相手の事を考えて行動する

〒061-1102



北広島市西の里322番地6

株式会社三和重機

TEL 011-375-4444

FAX 011-375-4455



<http://www.sunwa-gp.co.jp>

株式会社三和整備

TEL 011-375-4477

FAX 011-375-4448







## 2023年 三和重機『クレーンのこいのぼり』



皆様、ゴールデンウィークはゆっくり出来ましたか？三和重機では、5月1日～5月8日まで、クレーンのこいのぼりをかかげました。例年行っている5月5日のこどもの日のイベントは、中止とさせていただきます、地域の皆様、274号線を通勤している方々、旅行されている方々、この日を楽しみにしてくれる方々へ、この期間限定でお届けできたのかなと思います。今年は、保育園の子供たちが、平日、敷地内に見に来てくれました。子供たちの笑顔や姿、記念写真撮影風景に、大人の私たちは、癒されました。下記は準備風景です。5月1日は、当日要る人で、クレーンのこいのぼりの準備を致しました。



今年も多くのこいのぼりの寄付をいただきました。寄付をしていただいた皆様ありがとうございました。

鯉のぼりは、江戸時代から伝承されてきた日本の伝統文化のひとつです。子供たちが健やかに成長することを願う鯉のぼり。一人でも多くの皆様が安全で、安心で、このクレーンのこいのぼりを見たら笑顔になっていただけたのであればとても幸いです。

### ONE FOR ALL ALL FOR ONE

ひとはみんなのために  
みんなはひとりのために



## 私たちが掲げた 『安全スローガン』



ゼロ災害 ひとりひとりの心がけ  
クレーンオペレーター 黄金崎隼人さん



安全運転 みんなの笑顔  
クレーンオペレーター 佐藤 満さん

今日もまた安全運んで無災害  
ドライバー 佐藤英樹さん



再確認慣れた作業に潜む危険  
三和整備 三田村義仁さん



## 今月の写真

みなさんは、お花見はしましたか？  
今月は、小林さんから届いた写真をご紹介します。三和重機ヤードに咲いた桜です。ピンク色の桜を見ると、ホッと一息つけますね。小林さんありがとうございます。



## あたまの体操

次の文字を動かして都市の名前を作ってください。  
イ ロ ム ヨ  
前回のこたえ 国語

## 採用情報

- ・クレーンオペレーター
- ・ドライバー
- ・営業
- 未経験者の方  
給与：220,000～
- 経験者の方  
給与：350,000以上可  
(経験・年齢によって処遇)

私たちと一緒に働きませんか？

Zoomやラインでの面接も受付可能です。

知識や技術の向上、挨拶や対応、コミュニケーションなど人間力の向上に努め、携わる現場が快適な空間になるようサポートしていきます。



## 今月の寓話

### 悪者ぞろいの家

ある村の話である。二軒の家が隣り合わせで暮らしていた。一軒の家は七人家族であったが、七人はいたって仲むつまじく、争いごと一つ起きなかった。もう一軒の家は三人家族でありながら、毎日喧嘩が絶えず、みなが面白くない日々を送っていた。

あるとき、三人家族の主人が、七人家族の家を訪ねて聞いた。「お前さんの家は家族も大勢なのに、喧嘩一つしたことがないと思う、わしの家は、たった三人の家族だというのに、毎日喧嘩が絶えず、修羅場のような有様だ。どうしておまえさんの家は、そう仲良く暮らせるのです？」

七人家族の主人は「それは、こうなんですよ。私どもの家は悪者ばかりの寄合いですのに、あなた様の家は善い人ばかりのお集りだからなんですよ」と言う。

三人家族の主人は合点がいかなかった。「どうも分かりませんね。七人も悪者が揃ってれば、いよいよ喧嘩が募るはずでしょう。悪者ばかりだから喧嘩がないというのは、どういうわけです？」

「いや、何も難しいことはありませんよ。たとえばですね、火鉢が転んでも、茶碗が割れても、みな「それは私が悪かった。いや私が不注意だった。いやいや私が軽率であった」とお互いがわれ先に悪者になる競争をします。

あなたの家ではこれと反対で、何か間違いがあると、みなさんが善い人になろうとなすって、「俺は知らぬ、貴様が悪い」とお互いが罪のなすり合いをするのでしょ。火鉢が転んだとしても、「貴様がこんなところに火鉢を置くから、俺が蹴飛ばしたのも無理はない。暗がりの部屋に、ものを言わぬ火鉢を置くなんて馬鹿がいるか」と善い人になろうとするに違いない。だから、喧嘩の絶えることはありません。私の家では競って悪者になり、あなたの家では競って善い人になろうとする。

**その結果、私の家では争いごとが起こらず、あなたの家では争いごとが絶えないでしょう**

こう言われて、三人家族の主人はなるほどと合点し、目を覚ました。それ以来、互いに譲り合うことに努め、円満な家庭になったという。

教訓:自分が悪いと思えば、自らの言動の改善を試みる思考となる。他人のせいにはばかりするとうまくいかないことが多い。

出典：座右の寓話